※令和４年度以降入学生用

学校番号	１２０７

令和５年度　芸術科

教科	音楽	科目	保育ピアノと歌 A	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書							
副教材等	全訳バイエルピアノ教則本（全音楽譜出版） 子どもの歌名曲選（ドレミ楽譜出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、ピアノの基本的な奏法と、保育向けのこどもの歌を学びます。あわせて楽譜の読み方なども学習します。
・ピアノは、基本的には個人の進度に合わせて指導していくので、自分のペースで学ぶことができます。諦めずに努力し続けることが上達につながります。
・保育向けのこどもの歌をたくさん知り、こどもと一緒に歌えるように練習します。

２　学習の到達目標

器楽・声楽に関する学習を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、音楽に関する資質・能力を次のとおり育成することをめざす。
（１）こどもの音楽表現について理解する
（２）ピアノの基本的な奏法・身体の使い方などの技能を身につける
（３）曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身につける
（４）他者との調和を意識して演奏する能力を身につける

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	こどもの音楽表現について理解し、それを展開していくために必要な音楽的な知識・技能を身につけている。主に、ピアノの基本的な奏法を身につけ、保育向けのこどもの歌が歌える。	創造的な表現を工夫し、習得した技術をこどもの音楽活動にどのように活かしていくのかを考える力を身につけている。また、表現することの楽しさを実感するとともに、こどもたちに楽しさを伝えられる表現力を身につけている。	ピアノの基本的な奏法の習得に意欲をもって取り組んでいる。主体的・協動的に音楽の幅広い活動に取り組み、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を身につけている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	ピアノの奏法	・ピアノの基本的な奏法 バイエルを用いてピアノの基本的な奏法を学ぶ	a:右手・左手のそれぞれの指を一本ずつ独立させて演奏できる技術を身につける c:意欲を持って取り組んでいる	実技テスト		観察 ふりかえりシート
	楽譜の読み方	・楽譜を正しく読み取る バイエルを用いて基本的な読譜力を身につける	a:音名と鍵盤の位置など、楽譜を正しく読み取り演奏する技術を身につける c:関心・意欲を持って取り組んでいる	受講状況 授業態度 ワークシート		観察
	歌唱	・童謡、保育向けの歌 子どもの歌名曲選より、童謡や保育向けの歌を学ぶ	a:童謡、保育向けの歌を数多く知り、歌えるようにする b:声の出し方や表現方法を工夫して歌えるようにする	実技テスト	実技テスト 授業態度	
後期	ピアノの奏法	・ピアノの奏法 バイエルを用いてピアノの奏法を身につける。	a:両手で演奏できる技術を身につける b:強弱や速度の指示に従い、表情豊かに演奏できる技術を身につける c:関心、意欲を持って取り組んでいる	実技テスト	実技テスト 受講状況	観察 ふりかえりシート
	読譜力の向上	・楽譜を正しく読み取る 楽譜を正しく早く読み取れる力を身につける	a:演奏するために読譜が必要であることを理解し、音符や速度記号などを正しく読みとる c:意欲を持って取り組んでいる	ワークシート		観察 授業態度

※令和４年度以降入学生用

	歌唱	・童謡、保育向けの歌 活動に即した歌を取り上げ、生活の中での音楽の役割を考えて表現する	b:声の大きさや言葉の発音など、音楽の良さや楽しさを伝えるためにはどのように表現すればよいかを考え、表現方法を工夫する力を身につける c:関心・意欲を持って取り組んでいる		実技テスト 授業態度	ふりかえりシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度